

# 九条の会

2006・3・28

第66号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## ネットワーク広げさらに豊かな活動へ

### 千葉で全県交流集会開く

3月26日、「千葉県内九条の会交流集会」が開かれました。県九条の会準備会と弁護士九条の会、地域の「会」など23の「会」がよびかけたもので66の「会」（含準備会）から140人が参加しました。

第一部では、よびかけ側から「交流集会」を開いた趣旨を含めたあいさつがあった後、あらかじめ推薦された6つの「会」からの報告がおこなわれました。この中では、市の教育委員会をまきこんだ取り組みで井上ひさしさんを招いての講演会を成功させた後、映画上映や戦跡めぐりなど月1回の催しをおこなっている（四街道市）、これまでこうした運動に参加したことがない人が多く、最初はギクシャクしたが、お花見やバス・ハイクなどで親睦を深めつつ系統的に憲法学習している（鎌ヶ谷市）、松戸市の一地域なのでとりたてて有名人もいないことから電話帳で調べて医師と牧師を訪ね発足にこぎつけた、悩みながら学習・行動しているが、行事をやるたびに新しい人が参加し会員が増えている（小金原）などの経験が紹介されました。

### 事前のアンケート回答をもとに発言

第2部は、参加者が挙手で1人5分ずつ発言しました。県内の各「会」には事前に結成の経過や運営体制、主な活動についてのアンケートが配られ、その回答が参加者全員にくばられていたため、発言者はそのアンケート回答にそって発言しました。

発言の中では、継続した学習会の取り組みとともに、地域のミニコミ紙や街頭でのチラシ配布等で催しを知らせ、「会」の存在をアピールしていることなどが紹介されました。また、青年の参加を広げるために音楽や映画などの企画を取りいれている試み、域内の寺院や教会をすべて訪問する計画に取り組んでいる例など、「会」の輪を広げる取り組みが報告されました。また、定期的に運営委員会をひらいて緊密な意見交換に努力していること、賛同者に品物の提供をよびかけフリーマーケットで販売して会の財政に役立て経験なども紹介されました。

「交流集会」では9条擁護の世論を広げるために、もっと細かい単位で「会」を作っていくことなどが確認されました。

## さらに多彩に草の根へ、一北海道

**【札幌市清田区 北野】** 北野九条の会は3月5日、「第2回戦争体験を語り聴く会」を開き18人が参加しました。「聴く会」では、終戦を室蘭で迎えたMさんが室蘭空襲について、終戦を静岡市で迎えたTさんが当時の小学校修身教育と思想統制について語りました。戦争の記憶をもつ参加者からも当時のつらい体験が語られました。

**【札幌市北区 篠路・太平】** 篠路・太平「九条の会」は結成1周年の3月12日、「うたごえ喫茶」をひらき82人が参加しました。「会」は11人のよびかけ人と8人の事務局員が定期的に会議を開き、これまで3回の学習会を開いてきました。今回の企画は、「もっと輪を広げたい」と昨年11月から準備。会場にはコーヒーや手作りのケーキが並び参加者を迎えました。退職教員のサークルがバンドと一緒に「さとうきび畑」や「大きな古時計」を披露、会場と一体になった和やかなひとときとなりました。

**【滝川市 江部乙】** 「江部乙（えべおつ）郷土史を学ぶ九条の会」は3月11日、「六戸島のたたかい」をテーマに講演会を開き34人が参加しました。六戸島のたたかいは、1966年におこなわれた農民運動への弾圧事件で、当時この運動に参加した人らが21日もの拘留にも屈せず団結してたたかって要求を実現した経歴を紹介しました。

**【音更町】** 九条の会・音更は3月9日、発足後初の講演会を開催、42人が参加しました。町内にある帯広短期大学の池添博彦教授が「しあわせに生きたい」と題して講演、地域内につくられている2つの「会」が活動報告をしました。

## 9条改憲一街で拾った青年の声

『東京グラフィティ』という若者向け月刊誌が、3月号（通刊18号）で「街の人にマジメな質問」として、「憲法9条を変えるべきですか？」と質問しています。パネルに書かれた意見からいくつかを紹介すると—

○改正をする意味や目的をしっかりと国民に示してからするべきである！自民党だけが国ではない。僕たち1人1人が日本という国なのだ！（22歳・男・学生）

○戦争を経験したおばあさん、おじいさんの話を自ら聞きに行こう！（19歳・女・学生）

○改正はいいと思う。けど、戦争は出来たらしたくない。軍隊って響きもなんかイヤ！9条改正よりももっと他にやらなきゃいけないコトあるでしょー！（23歳・男・福祉系）

○大人がそんな考えじゃ子どもがついてかねえぞ！（19歳・男・学生）

○天下り先を戦争相手先にして下さい。（19歳・男・学生）

○憲法改正が戦争につながるのなら、してはいけないと思う。何か別の解決法を探していくことでステキな国になってほしいです。（20歳・女・販売員）

## メール・マガジンの登録について

「九条の会」のメール・マガジンは、準備のつごうで発行が遅れていますが、4月早々には第1号を発行する予定です。送信をご希望の方、ホーム・ページの画面で申込み手続きをしてください。